

【1.策定の背景】

- ・開催地都道府県実行委員会が定める医療・救護要項に基づき、開催地の実情に合わせ医療・救護体制が整備
→その体制が必要な要件を満たすものであるのか否かを判断する基準を当協会として示していないことへの課題
- ・日本における大規模国際競技大会の開催により大会時の医療・救護に関する知見が蓄積されたため、レガシーとして集約する必要性が発生

国民スポーツ大会における医療・救護ガイドラインの策定

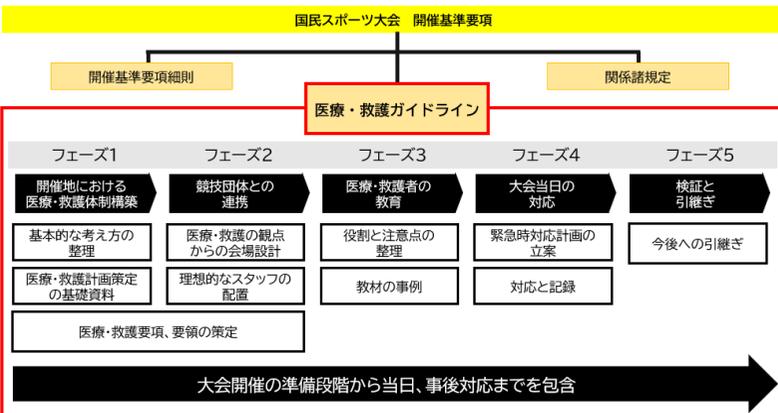
【2.目的】

- ・競技特性を踏まえた競技毎の医療・救護体制構築を開催地都道府県及び市町村が競技団体と連携・協力して整えられるようにすること
- ・医療・救護スタッフの準備(教育)に関する指針を示すこと

【3.対象】

開催地都道府県及び市町村、中央及び開催地競技団体、医療・救護スタッフとして大会に関わる者

【4.ガイドラインの位置づけ:開催基準要項に基づく】



内容

1. はじめに
2. 主催者の役割と責任
3. 国民スポーツ大会について
4. 大会への準備と医療・救護計画の策定
5. 組織体制、医療・救護スタッフの配置
6. 医療・救護の視点からの競技会会場の設計
7. 緊急時対応計画の策定
8. 当日の対応
9. 予防的対応
10. 医療・救護に関する引継ぎ
11. 医療・救護に関わるものへの教育と補償